

申5号 「2024年度の冬期の取り組みについて」に対する申し入れ② 交渉速報 (要旨)

5. 越後南線で架線凍結が予想される時はパターン運用するなど旅客への影響を最小限とすること。

●会社回答: 気象情報等を勘案し、運転計画を決定していく考えである。

(組 合) 去年の凍結により今年は凍結によるパターン運用について会社の考えはどうか?

(会 社) パターン運用は指令での判断となる。手配簡略化が目的のためパターン化は難しい。

(組 合) 去年、放射冷却現象が理由で運休した実績がある。パターン化も1つの手段であると思う。

(会 社) パターン運用は有効であるが全てが凍結状況になる訳ではないので難しい。条件で凍結という結論と検証に至っていないので今後検証していく。お客さまに一定程度ご迷惑おかけしてしまう認識である。判断材料を出し合って協議し進めていく。

6. 架線凍結が見込まれる場合、カッターパン搭載車両を積極的に運用させること。

●会社回答: 今年度冬期の検証結果を踏まえて、運用を検討していくことで考えている。

(組 合) 冬期説明資料の通りE129系でのカッターパン運用で良いか?

(会 社) カッターパンについてはこれから検証。運用についてこれから現場に周知、試行していく。

(組 合) カッターパンを走らせる頻度はどうか?

(会 社) 編成に限りがあるので回数は未定である。通常運用にも入る。上越線・信越線は臨時単行機関車での運用、またはカッターパンは試行でE129系で運用することを考えている

7. 越後南線にカッター車を臨時で走行させる場合は変行路とせず、臨行路として乗務員を確保すること。

●会社回答: 乗務員の手配状況に応じて検討するものである。

(組 合) 乗務員の長時間乗務防止と考えているが会社の考えについてはどうか?

(会 社) 乗務員が確保できれば臨時行路。確保できなければ変行路となるがその時の条件による。

(組 合) 昨年2月17日に行った臨回電と同様の設定はできないのか?

(会 社) 乗務員労働管理の観点から意見として承る。乗務員の負担とならないよう今後検討していく。

8. 昨冬に行った新潟乗務室と長岡乗務室の運転士行路の持ち替えを行うか明らかにすること。

●会社回答: 今年度冬期については、計画的な列車の持ち替えは行わない考えである。

(組 合) 持ち替えを行わない考えに至った理由は何か?

(会 社) 持ち替えた場合とどちらもタクシー2台必要になるのでコスト的に変わらないことと、現場からきついという声があり勘案した結果、持ち替えは行わない。

9. 指令室の冬期要員の体制を万全とすること。

●会社回答: 必要な要員は確保しているところである。

(会 社) 平日は支社モビサから指令経験者に限り2名、指令1名の計3名体制となる。休日は指令のみで対応を行う。事前教育と機器取扱い教育は完了している。各卓プレダス専任は会社の取扱いに則り配置していく。特に強風が見込まれる羽越線・白新線・信越線・磐越西線に基本は就くこととなる。